



「救急の日」医学講演会

救急医療の現状と課題を学ぶ

9月8日、日高医師会主催による「救急の日」医学講演会が道の駅サン・ポッケで開催され、医療関係者や消防関係者、町民など約150名が参加しました。

講演会では、旭川赤十字病院副院長兼救命救急センター長の住田臣造氏を講師に招き、救急医療の現状と課題について、約1時間30分にわたり講演されました。

講演会終了後には、日高西部消防組合消防職員により、身近な人の体調が急変した際の応急処置から、救急隊員が到着するまでの流れを寸劇に披露されました。



町内各地で敬老会

長寿を祝い敬老会開催

町内の各地区で、長寿を祝い敬老会が開催されました。

参加対象となった75歳以上の総数は2,176名。

最高齢の104歳を筆頭に100歳以上が7名。

9月8日に開催された日高地区の敬老の集いでは、太鼓、舞踊、ハーモニカとギターのセッション、くじ引きなど、たくさんのアトラクションが行われ、会場は終始なごやかな雰囲気、参加者の皆さんの会話も弾んでいました。



日高地区第1回芸術鑑賞事業「アフリカン太鼓ライブ」

山間に響くアフリカ太鼓のリズム

9月13日、日高町文化協会日高支部主催の日高地区第1回芸術鑑賞事業「アフリカン太鼓ライブ」が日高町民センターで開催されました。セネガル人の太鼓奏者マドゥローさんら太鼓演奏グループS A F A I C Oの北海道ツアーの1会場として日高高校芸術鑑賞を兼ねて開催されました。

会場には幼児から高齢者まで約130名が来場し、普段聴くことの出来ないアフリカ太鼓のリズムに合わせて踊ったり、手拍子したりと、大変盛り上がりました。



学校運営が地域を変える

「チーム学校」で町を元気にしよう

9月9日、親力アップ委員会in日高(小園暁子代表)主催による教育講演会が門別公民館で開催されました。

講演会では札幌市立屯田小学校の新保元康校長を講師に迎え、現在の教育現場が抱える課題と、自身に取り組んできた学校と保護者による学校運営が、地域を活性化してきた事例を紹介しました。

新保校長は「先生も子どもも親もみんな忙しい。その中で保護者の声に耳を傾けることで、解決の糸口を見つけることができる。」と話しました。



今年度中に100歳を迎える長寿者へ

内閣総理大臣より祝状と記念品を贈呈

9月15日の「老人の日」記念行事として、今年度中に100歳を迎える長寿者に、内閣総理大臣より祝状と記念品(銀杯)が贈られました。

9月19日、小谷トシエさんへご家族が見守られる中、三輪町長より祝状と記念品の伝達が行われました。

日高管内の対象者は25名で日高町は2名が対象となりました。

対象者は小谷トシエさん、山内テルさん。



手を上げて右・左・右

厚賀地区の道道に信号機が設置される

9月14日、門別町農協厚賀支所前の道道(美宇厚賀停車場線)の横断歩道に新たに信号機が設置され、点灯式が行われました。

点灯式では、本道道を通学路として利用することが多い厚賀小学校の児童が招待され、1～3年生の児童26名による「渡り初め」が行われました。

信号を渡る際は「信号が青に変わっても、右・左・右をしっかりと確認して渡ってね。」と門別警察署職員から指導され、信号機が設置されたことにより、安心、安全に道路を横断できるようになりました。



地域貢献活動として学校環境整備作業

磯田建設株式会社様に善行表彰を授与

9月19日、地域貢献活動として富川小学校、富川中学校、門別中学校敷地内の枝払い作業と、門別小学校の遊具補修作業を実施していただいた磯田建設株式会社(磯田茂社長)様に対し、善行表彰を授与しました。

磯田社長に表彰盾を手渡し、三輪町長は「町に対して様々な御支援をいただいております、本当に感謝しております。」とお礼を述べました。



日高山脈を疾走

日高ツーデイズエンデュロ

9月16日、17日の2日間、オフロードバイクの大会「日高ツーデイズエンデュロ」が開催されました。

今年で33年目を迎えた今大会には、全国各地から約160名のライダーがエントリーし、日高山脈の林道、川などを利用した1周約100kmの特設コースを疾走しました。

開会式会場やコースの発着点となった沙流川温泉ひだか高原荘では、一部コースのライブ映像も配信され、日高山脈を疾走するライダーの姿に会場周辺は大きな歓声があがるなど、大いに盛り上がった2日間でした。